

ダクト用換気扇 (居間・事務所・店舗用)

グリル形式	着せ替えインテリアタイプ (-Wタイプ)	グリル形式	フルフラットインテリアパネルタイプ (-Zタイプ)
形名	VD-15ZX ₇ -W VD-18ZX ₇ -W VD-20ZX ₇ -W VD-23ZX ₇ -W VD-25ZX ₇ -W	形名	VD-15ZXP ₇ -Z VD-18ZXP ₇ -Z VD-20ZXP ₇ -Z VD-23ZXP ₇ -Z
グリル形式	消音 着せ替えインテリアタイプ (-Wタイプ)	グリル形式	消音 フルフラットインテリアパネルタイプ (-Zタイプ)
形名	VD-20ZNP ₇ -W VD-23ZNP ₇ -W	形名	VD-18ZNP ₇ -Z VD-20ZNP ₇ -Z VD-23ZNP ₇ -Z

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

- 取付工事、壁工、電気工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
- この製品は、居間・事務所・店舗の天井に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要で、その他屋外フード等は二重換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
- 当社製以外の電子式スイッチ(半導体制御による调速スイッチ・タイマー等)やホタルスイッチをご使用の場合は相合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

<p>警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発や引火の原因。 ●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因。 ●改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。 ●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。 ●メタルスズリ、ワイヤスズリ、または金属板巻りの木造の造り物に金属ダクトが貫通する場合は、金属ダクトとメタルスズリ、ワイヤスズリ、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける 漏電した場合発火の原因。 	<p>注意 誤った取扱いをしたとき、傷害または家器・家財などの損害に結びつくもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない 火災の原因。 ●浴室など湿気の多い場所には取付けない 感電・故障の原因。 ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。 ●部品の取付けは確実にを行う 落下によりけがの原因。 ●取付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。
--	--

2.取付け前のお願い

- 取付け**
- ダクト用システム部材の使用については、各地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
 - 高温(40℃以上)になるところには取付けしないでください。
 - 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
 - 傾斜天井には取付けしないでください。シャッター開閉不良、振動、異音の原因となります。
- 天井・ダクト工事**
- 天井板は、振動・共振防止のため強度のあるものをご使用ください。
 - 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
 - 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのペントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは断外風フードなどのシステム部材を取付けてください。
 - 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - 吐出口のすぐそばでの曲げ
 - しぼり

3.付属部品

	木ネジ (本体固定用)	ドリルネジ (天井金具取付用)	天井金具	ワッシャー (天井金具取付用)	ゴムクッション (天井金具取付用)
W	15タイプ: 6	-	-	-	-
	18-20-23-25ZXタイプ: 9	-	-	-	-
	消音タイプ: 9	8	-	4	8
Z	15タイプ: 8	2	-	-	-
	18タイプ以上: 8	4	-	-	-

4.外形寸法図

■VD-15ZX₇-W
■VD-15ZXP₇-W

■VD-18ZX₇-W

ダクト径 φ100mm
埋込寸法 □260mm (野縁高さ40mm以下)

ダクト径 φ150mm
埋込寸法 □280mm (野縁高さ45mm以下)

4.外形寸法図 つづき

■VD-18ZXP₇-W・VD-20ZXP₇-W
■VD-23ZXP₇-W・VD-23ZNP₇-W

■VD-25ZX₇-Wの場合

ダクト径 18-20-25タイプ φ150mm
25タイプ φ200mm

埋込寸法 18-20タイプ □315mm
23-25タイプ □395mm (野縁高さ45mm以下)

形名	A	B	G	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	
VD-18ZXP ₇ -W	349	332	200	118	130	385	380	307	243	243	200	88	2	54	85.5	23	185	313	342	64.5
VD-20ZXP ₇ -W	488	471	300	157	169	445	470	398	278	280	230	98	4	70	105	37.5	161	392	417	84.5
VD-23ZXP ₇ -W	439	410	300	157	169	445	470	398	278	280	230	98	4	70	105	37.5	161	392	417	84.5

■VD-20ZNP₇-W
■VD-23ZNP₇-W・VD-23ZNP₇-W

■VD-25ZN₇-W

ダクト径 φ200mm
埋込寸法 □395mm (野縁高さ45mm以下)

形名	A	B	G	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	
VD-20ZNP ₇ -W	349	332	200	118	130	385	380	307	243	243	200	88	2	54	85.5	23	185	313	342	64.5
VD-23ZNP ₇ -W	488	471	300	157	169	445	470	398	278	280	230	98	4	70	105	37.5	161	392	417	84.5
VD-25ZN ₇ -W	439	410	300	157	169	445	470	398	278	280	230	98	4	70	105	37.5	161	392	417	84.5

■VD-15ZX₇-Z・VD-15ZXP₇-Z

■VD-18ZXP₇-Z・VD-20ZXP₇-Z・VD-20ZXP₇-Z

ダクト径 φ100mm
埋込寸法 □325mm (野縁高さ45mm以下)

ダクト径 φ150mm
埋込寸法 □385mm (野縁高さ45mm以下)

()内寸法はVD-20ZXP₇-Z

■VD-18ZNP₇-Z・VD-20ZNP₇-Z
■VD-20ZNP₇-Z

■VD-23ZXP₇-Z・VD-23ZNP₇-Z
■VD-23ZXP₇-Z・VD-23ZNP₇-Z

ダクト径 φ150mm
埋込寸法 □385mm (野縁高さ45mm以下)

ダクト径 φ150mm
埋込寸法 □465mm (野縁高さ45mm以下)

5.取付方法

- 1 取付け前の準備
- 2 ダクト工事
- 3 本体を吊る
- 4 電気工事
- 5 配線接続を確む
- 6 本体の固定
- 7 天井材を揺る
- 8 グリルの取付け

1 取付け前の準備

取付位置・壁排気穴位置を決め、市販の吊りボルト (M8) を埋込し、(下図参照)

■-Wタイプ

■-Zタイプ

※()寸法は天井金具P-08TK(システム部材)取付位置

2 ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。
●ダクトは本体に力加わらないよう天井より吊る。

3 本体を吊る

(野縁を使用する場合は裏面Bを参照)

天井金具を取付ける。

■-Wタイプ

●本体のへこみ部に天井金具の穴2か所を合わせ、天井金具取付ネジ2本で固定します。

VD-15タイプ……システム部材 P-05TK

●天井金具を本体に引掛けて内側より取付ネジで固定する。

VD-18-20-23タイプ……システム部材 P-08TK

●天井金具を本体に引掛けて内側より取付ネジで固定する。

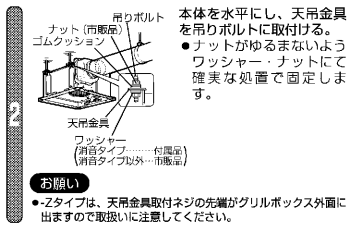
■-Zタイプ

●グリルボックスの穴部に天井金具の穴1か所を合わせ、天井金具取付ネジ1本で固定します。

■-Zタイプ

形名	A	B	G	D
VD-18-20タイプ	200	348	378	130
VD-23タイプ	300	235	456	130

5. 取付方法 つづき



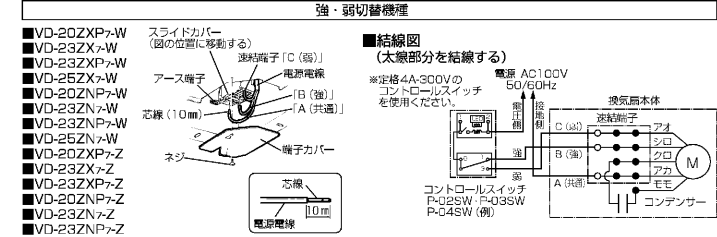
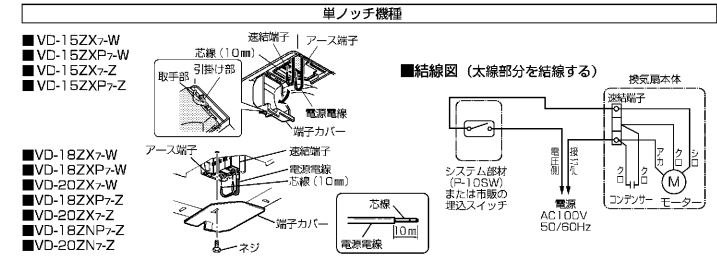
本体を水平にし、天吊金具を吊りボルトに取付ける。
 ● ナットがゆるまないようワッシャー・ナットにて陸まな処で固定します。

お願い

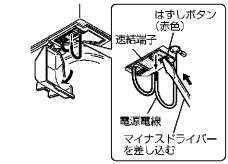
- Zタイプは、天吊金具取付ネジの先端がグリルボックス外面に出ますので取扱いに注意してください。

4 電気工事

1. 本体上部のゴムフックより電源電線（屋内配線 VVFケーブルφ1.6、φ2）を通す。
2. 端子カバーの取手部に指を掛けて下に引いて端子カバーを開け、連結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。（接続図参照）VD-18Z、20Z、23Z、25Zタイプの場合：端子カバーのネジ1本をはずして端子カバーを開け連結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。（接続図参照）
3. 端子カバーを元通り取付ける。「パンチ」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛部に確実に固定されていることを確認する。VD-18Z、20Z、23Z、25Zタイプの場合：端子カバーのネジ1本を取付ける。

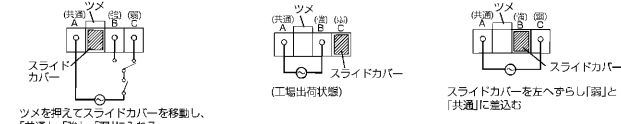


電源電線をはずす場合



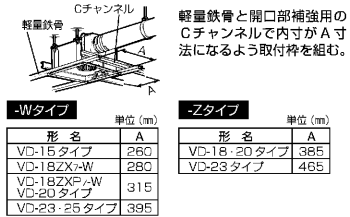
- お願い**
- 強弱運転タイプは、電源電線を間違えたとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客さま負担となりますので結線図を十分確認の上、接続してください。
 - 強・弱切替機構は単ノッチ使用もでき、その誤結線防止のためスライドカバーがついています。工場出荷時C（弱）部分にカバーがあります。（「強」運転状態）「弱」運転にする場合は、スライドカバーを移動させてB（強）をふさぎます。
 - 電源電線の外皮は70mm以上皮むきしてください。
 - 電線被ひくは10mm皮むきしてください。端子カバーに刺り込まれている皮むき寸法図に合わせて、皮むきすると便利です。（10mm以内むくと運転の異常になります）
 - より線を結線する場合は、棒状圧着端子（市販品）をより線に取付けてから連結端子に確実に差し込んでください。
 - 電源電線は、接続力がかわらないよう本体付近で約150mmたるませてください。
 - アース工事の際は、半線φ1.6またはより線1.25mm²をご使用ください。（圧着工具は日本圧着端子製 YHT-2210 をご使用ください。）
 - 電源電線を連結端子よりはずす場合は、マイナスドライバーで連結端子のはしりボタン（赤色）を押しながら電源電線を引っ掛けてはずしてください。

- 「強」・「弱」切替で運転する場合
- 「強」のみで運転する場合
- 「弱」のみで運転する場合

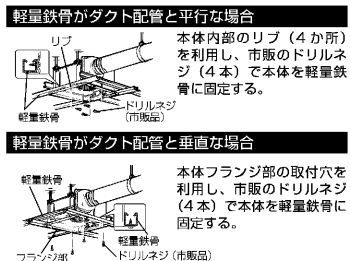


本体を野線に取付ける場合は **7 天井材を張る** へ つづく

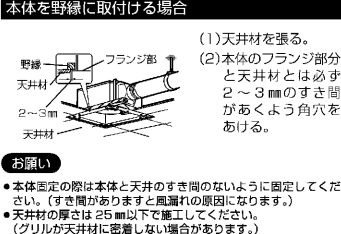
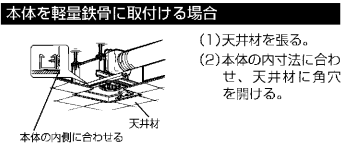
5 軽量鉄骨を組む



6 本体の固定 (メンテナンスができるよう固定)

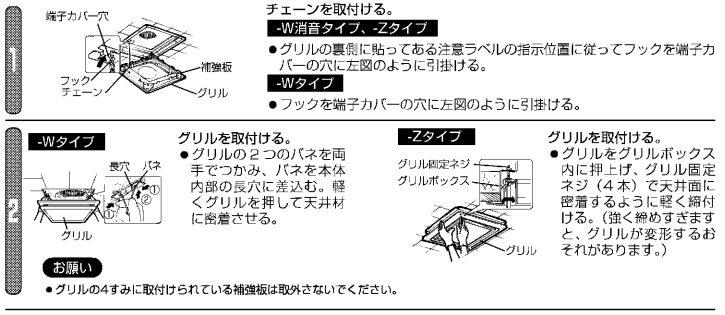


7 天井材を張る

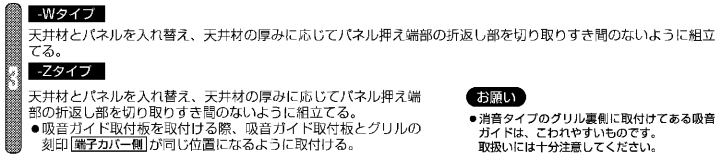
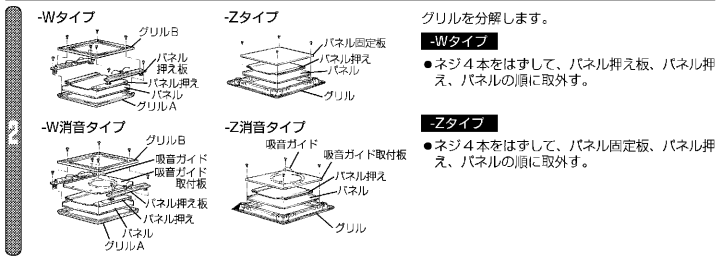
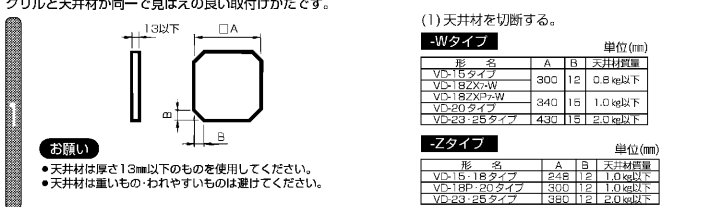


- 天井材を張る。
- (1) 天井材を張る。
 - (2) 本体のフランジ部分と天井材とは必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあける。
- お願い**
- 本体固定の際は本体と天井のすき間のないように固定してください。（すき間があると風漏れの原因になります。）
 - 天井材の厚さは25mm以下で施工してください。（グリルが天井材に密着しない場合があります。）

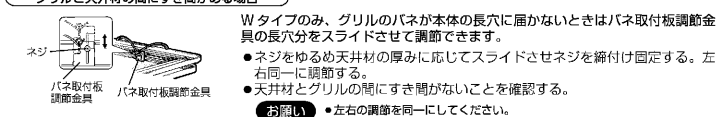
8 グリルの取付け



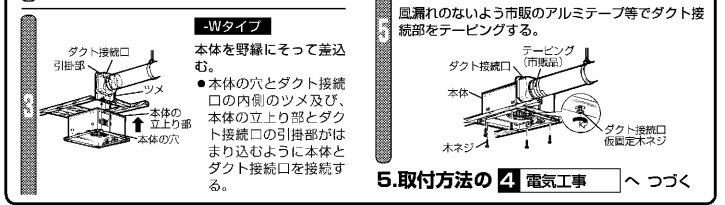
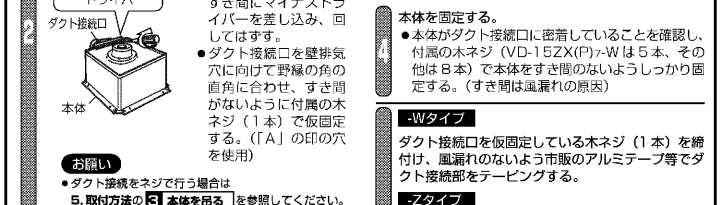
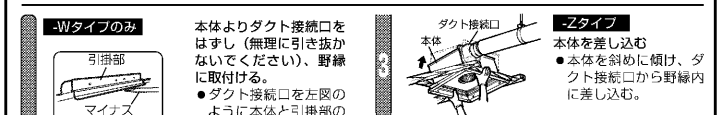
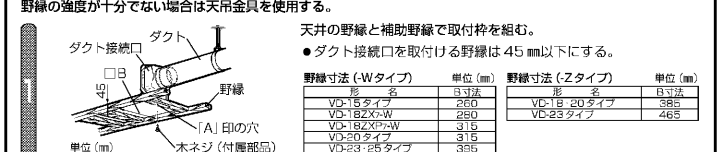
グリルと天井材を合わせる場合



グリルと天井材の間にすき間がある場合



2 野線に取付ける場合



6. 試運転

- 取付工事が終わりましたら次の確認をしてください。
1. コントロールスイッチにて正常な運転ができますか？
 2. 振動・異常音はありますか？